科目名	特別講義1							年度	2024
英語科目名	Special lecture-1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必/選	選※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	小山慶・島立素人・森岡重樹・小峰建・吉野雄一郎・嶋田円歌			教員の実務経験	有	実務経験の職種	音楽・イベント系企業		
【 科目の目的】									
主体的に講義に参加し、エンタテインメント業界の知識や問題意識を1年生前期の学習に積極的に活かす視座を得る。講義を通じて、各自が1年後期に向けた今後の指針を見出すきっかけを得る。また、特別講師を招いたり、授業やイベントを開催することで、学習体験を豊かにする。									
【 科目の概要】									
特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。									
【 到達目標】									
A 主体的に講義に参加する。 B エンタテインメント業界の知識や問題意識を、1年生前期の学習の場に活かす視座を得る。 C 講義をきっかけに各自が1年後期に向けた今後の自分の指針を発見する。									
【 授業の注意点】									
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 している			レベル2 ふつう			レベル1 要努力		
到達目標 A	主体的に講義に参加し 授業内発表ができる			主体的に講義に参加できる			到達目標Aについて さらなる努力が必要		
到達目標 B	エンタテインメント業界の知識や問題意識を、1年生前期 の学習の場に活かす視座を得る			エンタテインメント業界の知識や問題意識を、 説明することができる			到達目標Bについて さらなる努力が必要		
到達目標 C	講義をきっかけに各自が1年後期に 向けた今後の自分の指針を発見する			講義をきっかけに各自が1年後期に 向けた今後の自分について考察できる			到達目標Cについて さらなる努力が必要		
【 教科書】									
プリント資料									
【 参考資料】									
特になし									
【 成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はルーブリック評価に基づき、授業への参加姿勢とレポートによる。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		特別講義1			年度	2024
英語表記		Special Lecture-1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	第一課題 課題発表 課題説明	課題の趣旨を理解	1 特別講義とは	授業対象講義の意義がわかる	3	
			2 課題発表	第一課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
2	第一課題実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
3	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
4	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
6	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第一課題をまとめ、発表する		
8	第二課題課題発表	課題の趣旨を理解	1 第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3	
			2 課題発表	第二課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
9	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
10	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
12	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
14	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第二課題をまとめ、発表する		
15	総合復習	復習の実践	1 第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3	
			2 第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		
			3 特別講義の可能性	授業対象技術を取得することへの可能性を知る		

評価方法: 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価: S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった

備考 等